## 『Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学』正誤表

『Crosslink理学療法学テキスト物理療法学』第1版第1刷(2020年1月10日)~第1版4刷(2023年3月10日)に誤りがありました。ここに慎んでお詫び申し上げるとともに、以下の通り訂正させて戴きます。

(2024年1月15日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正				
p.38	本 V 石 1559~1077日	…の電磁線があり、 <u>非</u> 照射物をイオン化(電離)する性質がある。 <u>非</u> 電離放射線は非常に…	…の電磁線があり、 <mark>被</mark> 照射物をイオン化(電離)する性質がある。電離放射線は非常に…				

## 『Crosslink理学療法学テキスト物理療法学』正誤表

『Crosslink理学療法学テキスト物理療法学』第1版第1刷(2020年1月10日)に誤りがありました。ここに慎んでお詫び申し上げるとともに、以下の通り訂正させて戴きます。

(2020年11月25日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所		誤							正								
	⊠1	電磁波	電電電器放射線 非電解放射線	波の種类光光で表	及と被長域 名称 ガンマ(V)報 X盤 実外線 可税比線 サブミリ波 モリテ変 極起短波 超短波 超短波 ・ 超短波 ・ 超短波 ・ 超短波 ・ 超短波 ・ 超短波 ・ 超短波 ・ 超短波 ・ を を を を を を を を を を を を を	第2日(42) 3×10 <sup>18</sup> -3×10 <sup>18</sup> 3×10 <sup>18</sup> -3×10 <sup>18</sup> 3×10 <sup>18</sup> -3×10 <sup>18</sup> 3×10 <sup>18</sup> -3×10 <sup>19</sup> 3×10 <sup>18</sup> -3×10 <sup>19</sup>	利用例 放射線治線 X線検査 設施了 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		大◆電磁エネルギー	「電磁波」「電離放 対線、「電離放 対象が手で、 が が の 節を を に い す り が に と 示 す 、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、	電磁波	■ 電離放射線 非電離放射線	<b>磁波の種</b> 光 電波	類と波長域 名称 ガンマイケド線 米別線 市場光線 サブミリ波 モンチャ センチリ波 極助短波 機助短波 中波 長数	無益数(Hz) 3×10 <sup>16</sup> 以上 3×10 <sup>18</sup> -3×10 <sup>16</sup> 3×10 <sup>13</sup> -3×10 <sup>16</sup> 3×10 <sup>13</sup> -3×10 <sup>16</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>17</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>17</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>17</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>18</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>18</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>18</sup> 3×10 <sup>11</sup> -3×10 <sup>18</sup>	利用資 放射設治療 X 級検査 設施力 - 赤外線療法、近赤外線分光法 レーダー 衛生放送 機超短波療法、電子レンジ FM ラジオ 設定液療法、超度ラジオ AM ラジオ 系統 前定機用通信。 IH 両理器	大	
				需	極超長波 超低周波	3×102~3×103 300以下	- 家電製品など	/					電磁型	極超長波 超低周波	3×10º~3×10º 300以下	家電製品など	- /	
p.39	図4bの解説		.*	*4.i*.					d,		3	k	<b>↓</b> 2F <b>↓</b>			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 / ()(	
p.42	・本文右段13行目 ・図10の引出し文字と解説 ・用語解説	過電流							過電流									
p.43	本文左段2,5行目																	

## 『Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学』正誤表

『Crosslink理学療法学テキスト物理療法学』第1版第1刷(2020年1月10日)に誤りがありました。ここに慎んでお詫び申し上げるとともに、以下の通り訂正させて戴きます。

(2020年9月23日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正				
p.46	表3 キャプション 2行目	出力:連続照射40W, パルス照射200W・duty cycle(照射時間率)	出力:連続照射40W, パルス照射200W・duty cycle(照射時間率) <u>20%(平均出力40W)</u>				
p.71	2段目 下から10行目	…温熱効果を得るには強度1_2W/cm²(照射時間率100%)にて設定する。	…温熱効果を得るには強度1 <u>~</u> 2W/cm²(照射時間率100%)にて設定する。				
p.74	表10 第6列5行目	1 <u>,</u> 2W/cm <sup>2</sup>	1 <u>~</u> 2W/cm²				
p.77	引用文献3)	3) 庄本康治 編:エビデンスから身につける物理療法, 羊土社, p.131, 2017.	3) 木村貞治 ほか編:物理療法学テキスト 改訂第2版, p.131, 南江堂, 2013.				